入札方法について

(1) 入札はカウンター方式(レンジ)及び通過逓減方式(複写枚数が増えると1枚当たりのカウンター料金が安くなる)で行う。

(2) 1月当たりの機器の賃貸借料金(11台分)及び1月当たりの平均使用枚数で算出した複写料金の合計額(保守料金含む。)で競うものとし、当該合計額を入札金額とする。この場合において、入札金額は消費税相当額を含まないものとする。

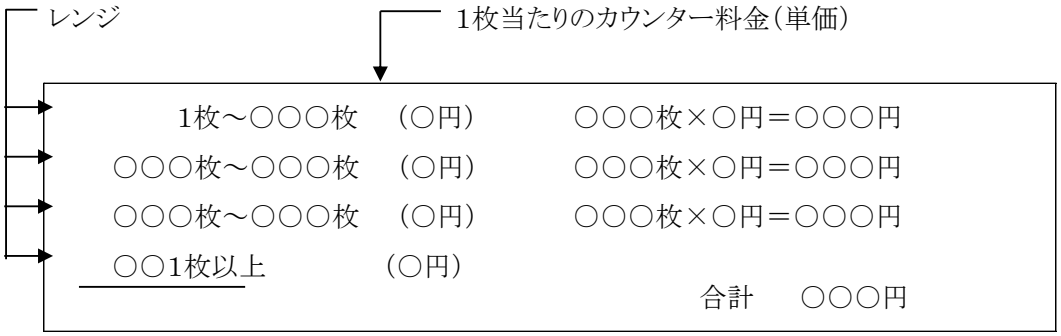
(3) 複写枚数は、モノクロ10,500枚、カラー270枚(1月当たりの平均複写予定枚数)で計算すること。

(4) レンジはモノクロ10,500枚を3段以上、カラーは270枚を2段以上に分けて組むこと。

(5) 1枚当たりの単価は、小数点以下第1位まで記入すること。(例:1.5円)

(6) 縦横の合計が一致しないものは無効とする。

＜レンジの組み方(1台当たり複写料金(月額))＞



※ ○(枚数及び金額)の記入及びレンジの組み合わせは業者が行う。

【入札書の記入例】　小中学校及び事務局　月平均　モノクロ10,500枚／校、カラー270枚

賃貸借料金(11台月額)……			110,000円 ①
1台当たり複写料金モノクロ(月額)			
1枚～5,000枚 (3.0円) ……	5,000枚 ×(3.0円) ＝		15,000円
5,001枚～10,000枚 (2.5円) ……	5,000枚 ×(2.5円) ＝		12,500円
10,001枚以上 (2.0円) ……	500枚 ×(2.0円) ＝		1,000円
	複写料金(10,500枚) 合計		28,500円 ②
	11台月額(②×11)		313,500円 ③
1台当たり複写料金カラー(月額)			
1枚～200枚 (12.0円) ……	200枚 ×(12.0円) ＝		2,400円
201枚以上 (10.0円) ……	70枚 ×(10.0円) ＝		700円
	複写料金(270枚) 合計		3,100円 ④
	入札金額(①＋③＋④)		**426,600円**

1番安い業者が落札